

地震への備え、 できていますか？

～地域の見直し、わが家の見直し～

福山市に大きな影響を与える地震とは？

① 南海トラフ巨大地震

福山市で想定される
最大震度は 6強

南海トラフ沿いのプレート境界を震源域とする地震であり、今世紀前半にも発生のおそれが指摘されています。

② 長者ヶ原断層 - 芳井断層

福山市で想定される
最大震度は 7

本郷町付近から長者ヶ原をとおり芦田川右岸の山守橋付近まで及び福山平成大学北側付近から北東方向に約37kmが断層と想定されています。

③ どこでも起こりうる 直下地震

福山市で想定される
最大震度は 7
(福山市庁舎の直下での地震発生を仮定)

直下型地震の場合、地震の断層が地表に現れない可能性があります。こうした地震はいつ、どこで発生するか分かりません。

【お問い合わせ先】 福山市建設局建築部 建築指導課



〒720-8501 福山市東桜町3番5号
福山市役所 本庁舎11階 電話 084-928-1103
8:30～17:15 (土日祝日・年末年始は除く)

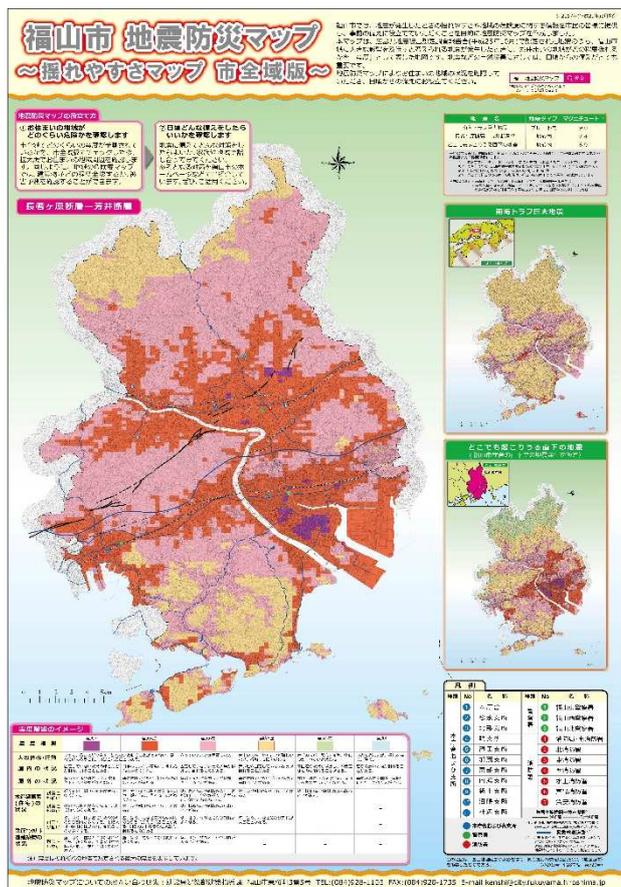
福山市 建築指導課

検索

「地震防災マップ」を活用しましょう！

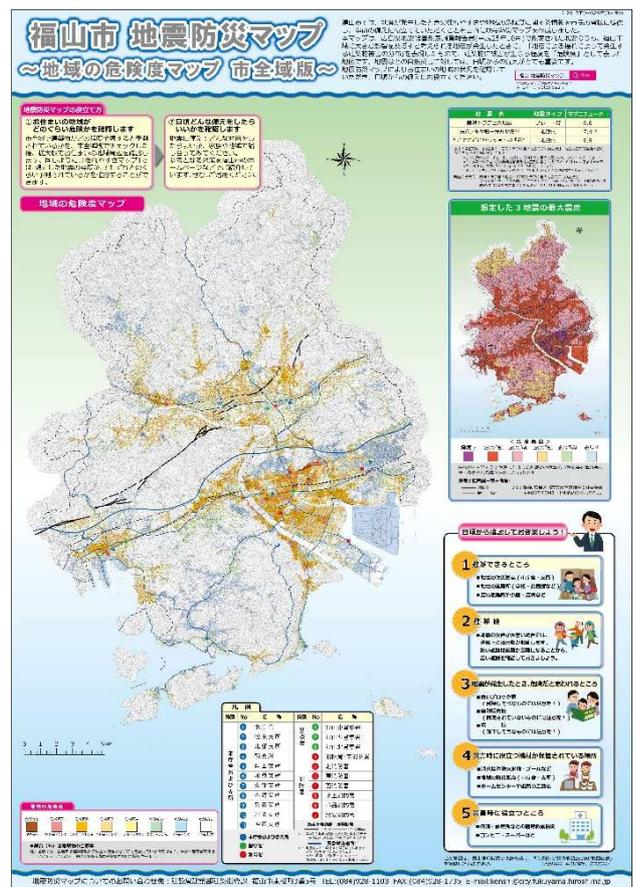
「地震防災マップ」を知っていますか？

「地震防災マップ」は、福山市域に大きな影響を及ぼすと考えられる地震（南海トラフ巨大地震、長者ヶ原断層-芳井断層の地震、どこでも起こりうる直下の地震）が発生したときの、地域の揺れやすさと、建築物被害の分布を表したものです。



【揺れやすさマップ】

お住まいの地域がどの程度揺れるかを「震度」として表した地図です。



【地域の危険度マップ】

「地震による揺れによって発生する建築物被害の分布」を表現したもので、建築物に被害が生じる程度を「危険度」として表した地図です。



このマップはあくまでも目安です。想定以上の揺れや建築物の被害が生じる可能性もあります。大きな被害を出さないためには、**事前の対策や日頃からの備え**が重要です。

「地域の地震防災マップ」を作成しましょう！

地域の自治会（町内会）などで話し合い、もう一度「**防災の視点**」で地域を見直してみましょう。地域ならではの防災マップを作成して、防災対策に役立てましょう。



【地域防災マップの作成例】

☑ 避難できる場所を確認しましょう

- ・地域の防災拠点（市役所，支所）
- ・避難所（学校，公民館など）
- ・広域避難場所や公園，広場など

☑ 避難路を確認しましょう

- ・道路上に障害物が散乱し，狭い道路は通行が困難となる場合があります。広い道路を確認しておきましょう。

☑ 危険な場所を把握しましょう

- ・倒壊しそうな古いブロック塀
- ・固定されていない自動販売機
- ・落下しそうな看板

地震防災マップは福山市ホームページからダウンロードできます。

福山市 地震防災マップ

検索



わが家の安全チェックをしましょう！

まずは身近な耐震対策から

家具

- ・2段、3段重ねの家具は「平型金具」で連結する。
- ・天井との間に突っ張り棒をつける。
- ・下に転倒防止板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。
- ・家具の上にガラスなど割れやすいものは置かない。

テレビ

- ・テレビは高い位置に置かない。
- ・耐震粘着マットなどを利用する。

台所

- ・火元の近くに布巾や油など燃えやすいものを置かない。

食器棚

- ・中のものが飛び出してくるため、「L型金具」で壁に固定し、開き戸には留め具を付ける。
- ・食器の滑り止めにタオルなどを敷いておく。

冷蔵庫

- ・転倒防止用ベルトで固定する。

寝室

- ・子どもやお年寄り、病人のいる寝室には、なるべく背の高い家具を置かない。

窓

- ・飛散防止フィルムを貼る。

照明器具

- ・吊下げタイプのものは、天井に固定し、落下を防ぐ。

玄関周り

- ・玄関や縁側など外への避難路になるところに家具や物を置かないようにして、スペースを確保しておく。

バルコニーやベランダ

- ・手すりの上に植木鉢などを置かない。

ブロック塀

- ・土中にしっかりした基礎がないもの、鉄筋が入っていないものは改修する。ひび割れや鉄筋のさびは補修する。

プロパンガス

- ・ボンベを鎖で固定する。